

平成 28 年度 戦略的 MICE 誘致促進事業受入体制整備
おきなわ MICE ナビ Web サイト機能拡張業務
企画コンペティション実施要綱

(目的)

第 1 条 この要綱は、沖縄県から委託を受け一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(以下「OCVB」という)が実施する本企画コンペティション(以下コンペ)に係る委託業務は、MICE 関連企業・団体に広く周知・活用され、沖縄 MICE の知名度向上を図ることを目的とする。

(企画内容)

第 2 条 募集する企画の内容は、別紙「仕様書」のとおりとする。

(見積り)

第 3 条 提案総額の上限は、8,640,000 円(消費税込み)とする。ただし、この金額は企画提案のため提示した金額であり、実際の契約金額とは異なる。

(委託期間)

第 4 条 委託期間は契約締結の日から平成 29 年 3 月 31 日までとする。

(参加資格)

第 5 条 企画コンペの参加資格は、次の要件を全て満たす企業又は団体とする。

- (1) 地方自治法施行令(昭和 22 年政令 16 号)第 167 条の 4 第 1 項の規定に該当しないこと。
- (2) 役員に次のいずれかに該当するものが含まれていないこと。
 - ① 破産者で復権を得ない者。
 - ② 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。
 - ③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 6 号に規定する暴力団員若しくは暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者(以下「暴力団の構成員等」と略記)
- (3) 暴力団の構成員等の統制の下にない企業又は団体。
- (4) 沖縄県内に本社又は支店、営業所等を有し、自社内で本事業業務が実施できること。

※ 英文の翻訳業務に関してはその限りではない。
- (5) 過去に官公庁及び関係団体から受託した類似事業の実績(沖縄県内または他都道府県)を有すること。
- (6) 本事業を運営するにあたっては、必要に応じて事務局と速やかに連携を行うなど、事業を円滑に履行することができる体制が整備されていること。
- (7) 本業務に企画提案するにあたっては次の事項に留意すること。
 - ① 複数の企業等でコンソーシアムを構成し、応募する場合は、幹事企業を選定すること。
 - ② 1 社につき 1 提案の応募とし、1 つの企業が複数のコンソーシアムを通じて 2 企画以上提案することはない。

(8)コンソーシアムを構成する場合、幹事企業は(4)に該当すること。

(9)沖縄県から指名停止措置を受けていない企業、団体であること。

(提出書類)

第6条 企画コンペに参加する企業又は団体は、所定の様式により提出期限までにOCVBへ、原本を郵送もしくは持ち込みにて提出しなければならない。FAX、電子メール等での提出は受け付けない。

(提出書類／スケジュール)

第7条 企画コンペに関する業務日程は、次のとおりとする。

(1)企画提案参加申込書(様式1)の提出

- ①提出期日／平成28年12月22日(木)17:00(必着)まで
- ②企画提出者は、所定の資料に必要事項を記載後、原本を郵送(持参)すること。
- ③提出期日(時間)までに提出の無い者の提案は、受け付けない。

(2)質問書(様式2)の提出

- ①締切／平成28年12月26日(月)17:00まで
- ②所定の様式(様式2)に質問事項を記入後、E-mail添付にてOCVB担当者へ質問すること。
- ③E-mail以外での質問は受け付けない。
- ④回答はメールにて行うものとし、企画参加者の全担当へ同報する。

(3)企画書の提出

- ①提出期日／平成28年12月28日(水)12:00(正午)(必着)まで
- ②提出場所／一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー
海外業部 MICE 戦略推進課 上原・座間味・川崎 宛
- ③提出書類／提出する全ての書類は2穴パンチをあげ、カバー等は付けないこと。

・企画提案提出書(様式3)

※共同体(コンソーシアム)として提案する場合、様式3の項目3,4については参加事業者の
全社提出すること

・評点概要書(様式4)

※企画提案書に基づき、それぞれの項目に記入例を参考に簡潔に記載すること

・企画書

※企画書は事業者名(共同体/コンソーシアム含む)を明記した7部を提出

※提出する企画書については、A4横書き・綴じ方は長辺綴じとし、所定の形式以外の
企画書については、受け付けない

※表紙、目次を省く両面印刷20枚以内(見積りは別冊添付)

※綴じ方例



・見積書

※見積書は(事業者名表記／代表者印押印)のものを7部提出

※各項目別の一式表記と内訳明細書

・辞退申請書(様式5)

※企画提案参加申込書(様式1)を提出後、諸般の事情により企画書の提出を辞退する場合は
企画書提出期限日までに辞退申請書を提出すること

④企画提案書留意事項

- ・当該事業の実施方針及び具体的な提案
- ・当該事業の実施体制
- ・実施スケジュール

1次審査実施予定日: 平成29年1月5日(木)

1次審査結果通知予定日: 平成29年1月6日(金) ※一次審査通過企業のみ

2次審査実施予定日: 平成29年1月12日(木)

2次審査会場: 沖縄産業支援センター 203-2号室

那覇市字小禄 1831-1 沖縄産業支援センター2階

2次審査結果通知予定日: 平成29年1月13日(金)

(再委託について)

第8条 再委託の制限等

(1)一括再委託の禁止等

本事業を実施するにあたっては、契約の全部の履行を一括または分割して第三者に委託し、または請負わせることができない。また、以下の業務については、その履行を第三者に委任し、または請負わせることができない。ただし、これにより難い特別な事情があるものとしてあらかじめ OCVB が書面で認める場合は、これと異なる取扱いをすることがある。

※デザイン・レイアウト企画提案及び修正等の統轄的かつ根幹的な業務

(2)再委託先の制限

本委託業務の企画提案参加者であった者に契約の履行を委任し、または請負わせることはできない。

また、この場合の再委託者の資格については、本要綱、第5条参加資格の規定を準用するものとする。

(3)契約の一部を第三者に委任し、又は請負わせようとするときは、あらかじめ OCVB の承認を得なければならない。

(審査)

第9条 審査は次のとおり行う。

(1)1次審査は、企画コンペ選定委員会による書面審査にて行い、上位3社を上限に選出する。

(2)1次審査で選出された企業又は団体を対象に、プレゼンテーションに基づく2次審査を行い、委託候補社

を選定する。なお、プレゼンテーションに関しては、1社当たり20分とする(プレゼン15分 質疑応答5分)

(3)2次審査結果の通知については、平成29年1月13日(金)までに発表するものとする。

(4)審査にあたっては、企画審査基準に基づき慎重に審査する。

(審査基準)

第10条 審査に当たっては、次に掲げる事項について総合的に勘案し評価を行う。

- (1) 企画内容を通し、仕様書の委託内容を網羅し、かつ沖縄で MICE 開催を検討している国内外の企業様・団体様が MICE 誘致資料作成の企画提案力を高めると共に、OCVB 職員によるコンテンツの作成・更新の容易性を高められる構成か。
- (2) デザインについて、国内外の企業様・団体様が利用しやすい(見やすい・使いやすい)構成または規格であるか。
- (3) 企画提案の根拠および企画の実現性があるか。
- (4) 作業スケジュールは無理なく適切に設定されており、実施内容を踏まえた実施体制となっているか。
- (5) 本事業と類似又は同規模の事業を実施した実績を有しているか。
- (6) 見積額は限られた予算の中で最大の効果を生む内容となっており、合理的且つ適正であるか。

(著作権等)

第11条 著作権及び使用権は次のとおりとする。

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、著作権法第27条および第28条に定める権利を含むすべての著作権(財産権)を OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物および第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前に OCVB の承諾を得るものとする。
- (2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第18条ないし第20条に規定されている権利を行使することができない。
- (3) 本業務作成物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県及び OCVB 内での利用、或いは沖縄県または OCVB が観光振興に資すると判断したうえで第三者への提供が可能なもののみを使用する。
- (4) 本業務の成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含めすべて受託事業者において責任を負うものとする。
- (5) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。

(委託契約)

第12条 委託契約については、原則として第1位入選者と契約を行うものとするが、委託に関して必要な協議が合意に至らなかった場合は、次順位以降の者を繰り上げて、協議の上契約するものとする。

(その他留意事項)

第13条 前条までの規定に定めるもののほか、次の事項に留意すること。

- (1) 応募書類の作成等に関する費用は、申請者の負担とする。
- (2) 応募書類に虚偽の記載をした場合には、応募を無効とする。
- (3) 応募書類に不備・不足がある場合、審査の時の減点対象となる。
- (4) 応募書類の提出後は、記載された内容の変更は認めない。
- (5) 提出された応募書類は、返却しない。
- (6) 1次審査、2次審査の審査内容及び経過については、公表しない。

(免責事項)

第14条 本業務の履行において事業者間で発生した問題に対し、OCVBは一切関与しない。

(了)